

ご挨拶



法政大学 町田法友会

会長 芝田 晃

(経済学部経済学科/1991年卒)

日頃は大変お世話になっております。法政大学 町田法友会の芝田と申します。

町田法友会では、日頃より町田市内にある法政大学多摩キャンパスにおける行事に積極的に参加し、学生とも交流をはかっておりますが、昨今の世情により様々な活動が制限されております。

活動のひとつに、陸上部の駅伝チームを応援する行事を行っていますが2年間活動が休止しております。そこで今年度は駅伝チームを応援するためのツールとして、全メンバーが掲載された選手名鑑の作成をすることいたしました。

ぜひこの冊子を片手に箱根駅伝予選会をはじめ本番の箱根駅伝、その他の競技の応援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年7月

Index

4 監督インタビュー

5~13 2021年 選手紹介

13 大学キャンパス情報

14 注目の選手たち

15 箱根駅伝の記録



陸上競技部 沿革

●1919年創立 関東学生陸上競技連盟所属

創部以来多くの優秀な成績を残し、全日本インカレ、箱根駅伝など短距離・長距離問わず大学トップレベルで活躍。インカレでは多数の優勝者を輩出しており、箱根駅伝では「81回の出場(2021年現在)」を誇る。また、世界陸上で2度のメダルを獲得した為末大(400mH)、オリンピック連続出場の内藤真人(110mH)、金丸祐三(400m)など多くのOBが日本陸上界をリードしている。

2021年4月29日織田幹雄記念国際陸上競技大会では2017年卒の金井大旺(110mH)が13秒16で日本記録を更新。同年6月26日、現2年生の黒川和樹(400mH)が日本選手権で初優勝。2020年卒の駅伝部OB・青木涼真(3000mSC〈障害〉)が3位で標準記録も突破し、いずれも東京オリンピック内定。

●主なオリンピック出場選手(OB・現役・高校時代含む)

- ・1932年 ロサンゼルス大会 大木 正幹(400m、4×400mR)
- ・1956年 ヘルシンキ大会 小島 義雄(ハンマー投げ)
- ・1972年 ミュンヘン大会 井上 敏明(三段跳び)
- ・1976年 モントリオール大会 井上 敏明(三段跳び)
- ・1984年 ロサンゼルス大会 不破 弘樹(100m、200m、4×400mR)
- ・1992年 バルセロナ大会 斎藤 嘉彦(400mH、4×400mR)、杉本 龍勇(100m、4×100mR)
- ・1996年 アトランタ大会 苅部 俊二(400mH、4×400mR)
- ・2000年 シドニー大会 川端 伸吾(100m、4×100mR)、苅部 俊二(4×400mR)
- ・2004年 アテネ大会 為末 大(400mH)、内藤 真人(110mH)
- ・2008年 北京大会 為末 大(400mH)、内藤 真人(110mH)、金丸 祐三(400m)
- ・2012年 ロンドン大会 金丸 祐三(400m)、岸本 鷹幸(400mH)
- ・2021年 東京大会(内定) 金井 大旺(110mH)、黒川 和樹(400mH)、青木 涼真(3000mSC)

●2021年度 陸上競技部 幹部

- 部 長 曾村 充利(法政大学 グローバル教養学部)
- 副 部 長 成田 道彦(法政大学 スポーツ健康学部)
- 監 督 苅部 俊二(法政大学 スポーツ健康学部)
- 駅伝監督 坪田 智夫(法政大学)